



校長室だより

# すきです 白峰

## 2学期へ

平成 28 年 8 月 31 日 No.18

白山市立白峰小学校

スローガン

### 元気なスタート



「すきです 白峰, 学び合い, 高め合い, 世界に発信」

## 学力の安定・向上に向けて



チャレンジタイム

25分 プラス の共通実践

毎週水曜日 午後1時20分～45分

プラス「放課後学習」(校長室で〇まる)

全教員、全学年で工夫した取り組みを行っています。  
いつでもご来校いただきご覧ください。

一学期末の学校評価アンケートにご協力ありがとうございました。本年度前期学校評価等の結果と分析、その対応策をご報告いたします。詳細は裏面をご覧ください。今後の授業参観やスクールフォーラム等に限らず、いつでも忌憚のないご意見を伺えれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

### A 評価判定項目 白山市立白峰小学校 平成28年度 前期学校評価の結果分析と方策(概要)

A評価項目	具体的方策	実現状況の達成基準	7月の達成度	判定	分析	今後の方策
楽しい学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇全ての教育活動を通して、自己肯定感、自己有用感を高めるため、「ほめて、認めて、励ます」対応を徹底する。</li> <li>〇自問清掃や高学年がお手本となる系統性・継続性のある活動で主体性や、自主的運営力を育成する。</li> <li>〇いじめ調査や欠席状況を基に児童に寄り添い、早期解決を図る。</li> </ul>	学校に行くのが楽しいと感じている児童・保護者、工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 57.6 % A+B 84.8 % 保護者アンケート A 46.9 % A+B 93.8 % 教員自己評価 A 45.5 % A+B 100 %	A	〇学校教育活動を通して、自己肯定感、自己有用感が高められている。火山防災授業等を通して、高学年と低学年が協働する姿が見られた。	〇全ての活動において「ほめて、認めて、励ます」ことを徹底する。特に自問清掃や高学年がお手本となる活動を通して、さらに主体性や自主的運営力を高め、そのことを自己有用感につなげる。
生活規律(時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇ノーチャイムデーを設けることで、時間を意識し自ら行動できるようにする。</li> </ul>	チャイムスタートや起床就寝時間を守っていると答えた児童・保護者、教職員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 45.5 % A+B 90.9 % 保護者アンケート A 46.9 % A+B 93.8 % 教員自己評価 A 27.3 % A+B 90.9 %	A	〇学校でも家庭でも時間を意識し、時間を大切にしようとする生活が身につけている。	〇校内では毎週ノーチャイムデーを設けることで、教員共々自ら時間を意識し行動することに取り組む。 〇家庭学習1週間プランを計画的に実施することで自主的家庭学習の充実を図る。
体を動かし体力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇体力テスト結果を児童1人ひとりに理解させ、次のめあてや具体的な目標記録を見る化する。</li> <li>〇年間を通じて持久走の取り組みを具体化(500km走破かがやけGO)する。</li> <li>〇新設の登り棒を活用し、握力強化への補充運動を取り入れる。</li> </ul>	体育の時間等に体をよく動かし体力がついてきていると答えた児童、指導を工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 72.7 % A+B 90.9 % 教員自己評価 A 51.7 % A+B 100 %	A	〇児童、教員共に体力アップへの意識は高く、具体的な実践がなされている。	〇9月の運動会に向けためあてを明確にし、全校一斉に取り組む。 〇10月の持久走週間や11月の交流駅伝大会参加、体力テストの実施・分析で効果を個々に自覚させ意欲化を図る。 〇12月のなわとび・スポチャレ週間、1月のスポチャレ週間、2月のなわとび週間で個々のめあてに沿って冬期の体力の維持向上を図る。
朝食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早寝・早起き・朝ご飯」の必要性を保健だより等で発信し、家庭との連携充実を図る。</li> </ul>	毎日朝食をとっていると答えた保護者が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	保護者アンケート A 81.3 % A+B 93.8 %	A	〇昨年に比べ、朝食を食べないことがある児童が減っている。	〇「早寝・早起き・朝ご飯」の必要性について、保健だより等で継続した発信を行う。 〇委員会活動では、自主的に朝ご飯の大切さを調べさせ、全校に発信させる。
学校の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇校長室だより、学校だより、学年だより等で学校行事や、育友会活動の様子を伝える。</li> <li>〇学校の取組を報道機関に情報発信し、メディアに取り上げてもらうことで、「見える学校」として広く情報公開を推進する。</li> </ul>	学校が学校活動を便りやいろいろな場で伝える努力をしていると答えた保護者が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	保護者アンケート A 65.6 % A+B 90.6 %	A	〇学校の見える化への理解が進んでいる。	〇校長室だより、学校だよりを継続して全戸配布する。 〇道徳だより、研究だより、生徒指導便り、イングリッシュデー便りなど、時を捉えてタイムリーな情報発信を心がける。 〇報道機関を通して、広く情報公開に努める。
学校の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇連絡帳や懇談等を通して、子どもの情報交換を適切丁寧に行う。</li> <li>〇祖父母学級や学校公開日を設け、徹底した学校の見える化を図る。</li> <li>〇学級懇談会を増やし充実させる。</li> </ul>	学校が子どもの相談に適切に応じてくれると答えた保護者が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	保護者アンケート A 65.6 % A+B 90.6 %	A	〇学校の運営への理解をはかるための「見える化」、丁寧な相談体制、熱心な個別対応への理解が進んでいる。	〇連絡帳や懇談等を通して、より丁寧な相談体制を推進し、安心・安全な学校環境を維持推進する。 〇学校公開を丁寧に周知するとともに、学校の見える化をより推進する。

生活規律が大幅改善

「見える学校」「信頼される学校」の推進

「きめ細かな対応」、安全・安心の拡充

C-D評価項目	具体的方策	実現状況の達成基準	7月の達成度	判定	分析	今後の方策
基礎基本の繰り返し練習 (漢字・計算)	○朝学習や放課後学習で100問プリントの実施など、速くて正確な計算の定着を図り、学習意欲を向上させる。 ○漢字のショートテスト100点を合格とし漢字の繰り返し練習を徹底させることで自信を持たせる。	学期末テスト90点以上の児童・指導している教職員・確認している保護者が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 27.3% A+B 60.6% 保護者アンケート A 25.0% A+B 59.4% 教員自己評価 A 85.7% A+B 100%	D	▼基礎基本の定着に配慮した指導は徹底しているが、児童の具体的な意欲や自信になっていない。	○放課後学習での100問プリント、パワーアップタイムの充実等、基礎基本の定着と意欲付けへの取り組みを継続する。 ○繰り返し練習による漢字100点合格を徹底し、努力をほめて認めながら取り組みへの自信と継続を目指す。 ○「書き方チャンピオン」の取り組みを通じて、丁寧に書く指導を徹底する。
書く力 (作文、日記)	○毎日の自問ノートや1行日記で、書くことに慣れさせる。 ○水曜朝学習で「書くことプリント」に徹底して取り組む。 ○「書くことチャンピオン」の取り組みで定着を目指す。	感じたことや思ったことを書くことができるようになった児童・保護者、工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 33.3% A+B 57.6% 保護者アンケート A 12.9% A+B 32.3% 教員自己評価 A 25.0% A+B 75.0%	D	▼毎日の日記や授業の振り返りをもとに書く活動は定着しつつあるが、児童には実感が伴わず、保護者には、児童の書く意欲や自信が見られないととらえる傾向にある。	○条件をつけた作文の指導に取り組み(水曜朝学習・チャレンジタイム・毎日の連絡帳・自問ノート・パワーアップ学習)、慣れることで自信と意欲を向上させる。 ○キーワードで、50-100字でまとめる取り組みを意図的に継続させ、慣れることで自信をつける。
学習の構え① (聞く)	○「よい聴き方」を教室掲示し、いつでも確認できるようにする。 ○話し手は、聞き手の姿勢が整うまで話始めないことを徹底する。 ○「聞き方チャンピオン」の取り組みで定着を目指す。	人の話を聞いてわかると答えた児童・保護者、工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 45.5% A+B 93.9% 保護者アンケート A 18.8% A+B 78.1% 教員自己評価 A 25.0% A+B 75.0%	C	▼児童は聞いてわかっていると思っている傾向にあるが、保護者や教員は聞いたことへの理解度や姿勢に課題を感じている。	○授業での指示は短く、繰り返ししない姿勢を徹底する。 ○聞く姿勢(話し手を見る)が整ってから、話し始める場を徹底する。○意図的に、他の意見を復唱させる。 ○聞いたことを、メモして要約する場を計画的に設定する。
自己肯定感	○学校生活全般を通して、児童の活躍や前向きな姿勢を、常にほめて認め励まし、次の新たな一歩となるよう全校一斉の方針を徹底する。	自分や友だち、学級の「いいところや、がんばっているところ」が言えると答えた児童・保護者、工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 39.4% A+B 72.7% 保護者アンケート A 18.8% A+B 65.6% 教員自己評価 A 36.4% A+B 90.9%	C	▼自問清掃で自己を見つめる機会が増えたことで児童の評価は厳しくなっている。教員は取り組みの工夫への自覚が進んでいる。	○運動会をはじめ、様々な活動に他との相互評価を取り入れ、自己肯定感、自己有用感を児童相互に高める。 ○教科道徳の先行実施で、自問自答の時間をより充実させ、自己を見つめる時間の活用を図る。
自主的実践力	○自問清掃、ノーチャイムデーを進め、自ら考え、時間を管理し、主体的に行動できる力をつける。 ○委員会活動や白峰っ子集会で、児童に企画運営を任せ、役割を明確化することで、高学年の自主性を育成する。	「学級や学校がよくなるためのこと」を考えたり発言できると答えた児童、工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 30.4% A+B 66.6% 教員自己評価 A 16.7% A+B 83.3%	C	▼教員の意識は取り組みと工夫が進んでいるが、児童は昨年と変わらず、自主的実践力への取り組みが浸透していない。	○自問清掃の班を3週間交替で活性化させ、他者理解の場を増やすことで協働意識を高め、自主的実践を推進する。 ○運動会や委員会活動、縦割り活動で、児童に企画・実践を任せる場を具現化し、全体で見える化させることで意欲の高揚を図る。
説明する力 (文や図で)	○授業の中で、図や文にして説明することを意識的に取り入れる。 ○自主学習ノートで、自分の考えを図で説明する取り組みを奨励する。	文や図を用いてまとめて説明できると答えた児童、工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 30.3% A+B 63.6% 教員自己評価 A 50.0% A+B 100%	C	▼文や図を使って説明することを指導はしているが、その良さを児童が実感できていない。	○言葉だけで説明した時と、文や図を使って説明した時の違いを実感させ、その意義を考える場を意図的に継続して設ける。
生活規律 (あいさつ、返事)	○「いつでも、どこでも、元気よく」を合い言葉に、なかま委員会の取り組みを含め、毎日30人以上へのあいさつをめざす。 ○毎月「あいさつ」への取り組みをふりかえり、翌月に活かす。	あいさつや返事ができると答えた児童・保護者、教職員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 66.7% A+B 90.9% 保護者アンケート A 37.5% A+B 62.5% 教員自己評価 A 18.2% A+B 81.8%	C	▼教員や保護者が、手本となる取り組みを具体的に進める必要がある。授業での返事については教員の継続した取り組みを徹底する。	○毎日30人への元気なあいさつ運動と、毎月のふりかえりを継続する。 ○保護者にあいさつ運動への参加を促す。 ○イングリッシュデーの取り組みを進め、楽しい英会話を通じてあいさつやジェスチャーの意義を実感させる。

本校の今年度前期の課題が明らかになりました。

最重点課題は2点。「基礎基本の徹底」と「書く力」の向上です。

様々に重点克服への改善を行います。見える化で全校の具体的な成長を目指します。

一方、昨年度の重点課題「家庭学習の充実」は、ご家庭のご理解とご協力のお蔭で「DからB」に向上しています。子ども達の更なる飛躍のために次の一手は「家庭学習 1週間プラン」です。



自問清掃の充実

みつけ玉を磨く!  
がまん玉を磨く!  
しんせつ玉を磨く!

ホームページではカラーでご覧になれます。  
いつでも何なりとお問い合わせください。  
〒920-2501 石川県白山市白峰ニ110番地  
TEL(076)259-2009 FAX(076)259-2188  
E-mail shiramine-e02@sc.city.hakusan.ishikawa.jp